

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ゼン・トゥエンティファイブ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	Δ RG 0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ゼン・トゥエンティファイブ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

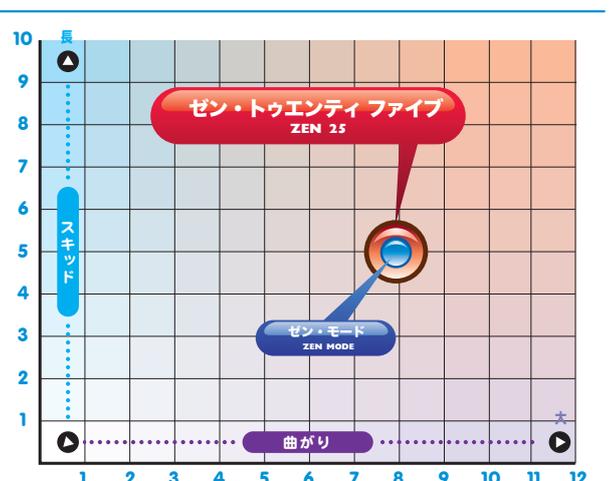
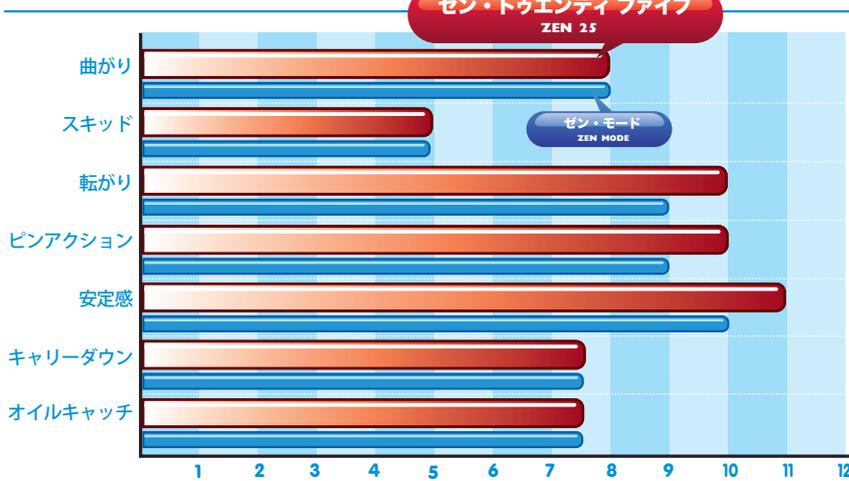
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ゼン・モード

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

900GLOBALで対称コアの代表作であり、大きな体積を持ち、持続性の高い転がりを魅せるボールと言えば、ZENシリーズと言えるでしょう。そのZENで最も実績のあるのが初代ZEN(オリジナル)ですが、今回初代ZENに限りなく近づけながら、現代のテクノロジーと融合させたボールを開発しました。ZEN 25は可能な限り初代ZENとの一貫性を保つため、配色の一部をオリジナルのZENと同じものを使いながら、各項目に最新テクノロジーを採用しグレードアップさせています。

まずRB 83 PearlカバーはオリジナルのZENに搭載されているS77レスポンス・パールに可能な限り近づけるよう開発されました。無論100%ナノベースのカバーであることは言うまでもありません。最新のパワーエッジ仕上げはオイルに対してのトラクションが増え、現行のカバーストックの性能をランクアップさせます。そしてコアのパフォーマンスを格段に上昇させることができるA.Iテクノロジーは、RGを下げることで手前からの転がりが増し、 Δ RGが上がることで大きなネジレを発生させることができます。S77レスポンス・パールカバーであるオリジナルのZENと今回の新しいZEN 25を比較すると、カバーストックは限りなく近いRB 83 Pearlカバーですが、パワーエッジ加工とA.Iコアテクノロジーにより、明らかにオリジナルより格段パフォーマンスは上がっています。特に中盤のトラクションは確実に上がっており、オイルの安定感とコアのネジレの相乗効果で、転がりの良さや持続性も増えています。オリジナルに限りなく近づけるコンセプトですが、最新のテクノロジーが満載の”オリジナルZEN”と言えるでしょう。

特記事項

A.Iコアと最新のパワーエッジ仕上げで格段にパフォーマンスは上がり、ZEN 25で対応できるコンディションの幅が大きく広がりました。